

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年 3月 25日

事業所名: 児童発達支援事業所Ohana

保護者等数(児童数): 35名

回収数: 25名

割合: 71%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2	1	1	その年度のお子さんの人数にもよるかもしれませんが、子どもにとってストレスないスペースだと思います。	今後もスペースを有意義に使っていくよう常に工夫していきたい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23			2	職員の人数は不明でしたが、毎回同じ先生なので安心できました。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	1		3	決められた場所での療育でしたので子どもにとっても分かりやすく、そこで何が行われるのか把握できていたと思います。	今後も特性に応じた空間作りに工夫を重ねていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25				清潔で明るい環境だと思います。	
適切な 支援の 提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23			2	情報共有をしていただいた上で、必要と思われる支援を提供していただき、計画書にも分かりやすく示していただいていたと思います。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25				行われていたと思います。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	24	1			音楽療法と言語療法でしたが、毎回内容が違い、充実していたと思います。成長具合に応じて課題内容を変えてくださっています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	1		7	保育園との両立ができていました。	今後は併設する保育園や高齢者施設との交流を増やしていきたい。(コロナ終息後)
保護者 への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25				説明を受けています。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25				問題ありません。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	21	1		2	言語療法で、自宅で出来る練習法を教えていただいたりしました。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25				話し合いの場もあったのでできていました。連絡帳を用いて活動内容や子どもの様子を理解することができています。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	3			問題ありません。相談員の方との面談やモニタリングの情報をもっと教えてほしい。	ご意見を踏まえ、分かりやすい情報提供の方法を工夫していきたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	5	10	コロナでできていないのかな。他の保護者の方と関わる機会があったらいいと思います。	今後は社会情勢や利用者様との意見等を踏まえ、保護者会や父母の会について検討したい。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24			1	問題ありません。 急な相談にも対応していただきました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25				問題ありません。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1			いつも拝見するのを楽しみにしていました。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24			1	問題ありません。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	2	1	5	コロナで大変だったと思いますが、問題ありません。	周知・説明が不十分な点があったかとは思いますが、訓練については年2回は必ず実施しています。今後は訓練の実施報告を全員に必ず行うように、お便りに入れていきたいと思っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2	1	9		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25				まだ続けたいくらいです。 毎回、利用を楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	24	1			職員の方も優しく、大変満足です。	

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。